

発達心理学	春 秋 週1回 2単位
担当者：徳井 千里	
講義の目標及び概要 1. 内容：乳幼児期・児童期を中心に、青年期・成人期・老人期にわたる人間の生涯発達のプロセスとその原則についての基礎知識を習得する。そのうえで、子どもの豊かで健やかな発達に関わる経験と環境、人との関係性等の要因のありかたを理解し、子どもの成長発達を促し、初期の社会生活を支える役割に必要とされる考え方や視点、人間観を身につける。さらに、子どもをめぐる現代社会の情勢を知り、家族への支援や、関係する機関との連携の手だてについての知識を得る。 2. カリキュラム上の位置づけ：保育士資格必修科目・幼稚園教諭資格必修科目・小学校教諭資格必修科目であり、卒業必修科目である。保育士資格新カリキュラムにおける「保育の心理学」に該当する。 3. 学びの意義と目標：幼児期・児童期の子どもの成長を導き支える役割の職種を志すにあたり、発達の原理とプロセスを理解することは不可欠であり、またそれをふまえたうえで、ひとりひとりの子どもの個性を尊重する視点を身につけることが重要である。	
評価方法 出席点が20%、授業中に不定期に実施する複数回の小テスト・小コメントの結果・内容が40%、学期末試験の結果が40%の比率で、総合的に評価する。	
教科書 本郷一夫（編著）『保育の心理学I・II』建ばく社	

発達心理学〔110C以上〕	春 週1回 2単位
担当者：金谷 京子	
講義の目標及び概要 1. 講義概要：人間の行動や心的な諸機能の発達は、どのような過程をたどるものか、また、どのようなメカニズムによってもたらされるのか、生涯発達の見点から人間の発達について学習する。保育・教育と発達との関連についても検討していく。そのため保育所保育指針の発達項目についても学んでいく。 2. カリキュラムの位置づけ：保育士資格必修科目である。小学校教職課程においては、選択科目であるが、実習等の基礎知識として履修しておくことが望まれる。	
評価方法 出席状況および小レポート、試験によって総合評価する。	
教科書 本郷一夫編著『保育の心理学I・II』建帛社 厚生労働省『保育所保育指針一平成20年告示一』厚生労働省	

発達心理学A	秋 週1回 2単位
担当者：池 弘子	
講義の目標及び概要 1. 内容 発達心理学は、ひとの出生から死亡までの時間経過に伴う心身の構造や機能の変化のしくみを研究する学問であり、ひとがより豊かな発達・人間的成長をしたり、より充実した生活を送ったりするために役立つことが期待されている。発達心理学Aでは、乳幼児期を取り上げる。まず、発達についての基本的な考え方について学習した後、乳児期と幼児期の発達について学習する。乳児期の発達に関しては、新生児の知覚能力について学習し、その後の発達を、運動、「もの」とのかかわり、「ひと」とのかかわりの観点から概観する。幼児期の発達に関しては、運動、言語、思考、社会性の発達について学習する。 2. カリキュラム上の位置づけ 人間福祉学科の学生にとっては、福祉の場において、子どもを理解し、子どもとかかわったり子どもの発達を支援したりするための基礎的知識が得られる講義となるであろう。 3. 学びの意義と目標 乳幼児期の子どもの発達に関する基礎的知識を得る。	
評価方法 3分の2以上の出席を必要条件とし、試験の成績のみで評価する。	
教科書 プリントを配布する	

発達心理学B	秋 週1回 2単位
担当者：池 弘子	
講義の目標及び概要 1. 内容 発達心理学は、ひとの出生から死亡までの時間経過に伴う心身の構造や機能の変化のしくみを研究する学問であり、ひとがより豊かな発達・人間的成長をしたり、より充実した生活を送ったりするために役立つことが期待されている。発達心理学Bでは、中年期・老年期のひとたちがどのような身体的・社会的変化を体験し、どのような心理的危機に陥ることが多いかについて知り、より豊かで充実した中年期・老年期を送っているひとたちは、どのような危機にどのように対応しているか、について、学習する。 2. カリキュラム上の位置づけ 人間福祉学科の学生にとっては、福祉の場において、子どもや高齢者の家族も含めた支援の対象となる中年期や老年期にあるひとたちを理解し、よりよい支援をするための基礎的知識が得られる講義となるであろう。 3. 学びの意義と目標 中年期・老年期の様々な変化とそれに伴う危機を理解し、よりよく生きるためにはそのような危機にどう対応すればいいかを学ぶ。	
評価方法 3分の2以上の出席を必要条件とし、試験の成績のみで評価する。	
教科書 プリントを配布する	

発達心理学研究	秋 週2回 4単位
担当者：池 弘子	
講義の目標及び概要 (講義の目標及び概要) 現代の急速な社会変化のもとで、子どもの発達に影響を及ぼす環境も大きく変化し、育児不安を訴える母親の増加、子ども虐待や子どもの食事の問題等がクローズアップされている。こうした中で、母子家庭や障害児を育てている家庭等、従来から支援が必要であると考えられていた家庭だけでなく、すべての子育て家庭に対する支援が必要であると考えられるようになった。そこで、この講義では、子どもの発達、子育て家庭や子育て支援に関する研究方法について考え、検討するとともに、子どもの発達にかかわる問題や子育て家庭に対する発達心理学的支援のために必要な知識を学習する。そして、これらを通して、子どもの発達や子育て支援に関する問題を研究したり、子育て家庭を支援したりするための基礎を学習する。 1回2コマ連続なので、原則として2コマ目には、資料に基づいて「子どもを取り巻く環境の変化と子どもの変化」について考える。	
評価方法 授業への参加状況50%と課題報告50%により総合的に評価する。	
教科書 授業の中で指示する	

話し方表現応用講座	秋 週1回 1単位
担当者：川野 一字	
講義の目標及び概要 1内容 「少し改まった場で話をする際何が必要なのか」を習得する。課題に対する素材の選び方、その素材の組み立て方、具体例は何か、表現は適切か、制限時間を守れたか(例3分)などを、録音再生を随時使用しながら多角的に吟味し、演習で実践する。 2カリキュラム上の位置づけ この講座は、1年生必修の「基礎教育入門(話し方)」で出席、成績ともに良好な2年生以上を対象とするハイレベルの講座である。 3学びの意義と目標 1年生で培った基礎をもとに、「時間内に、整理した形で話が出来、その内容を明確に聞き手に伝えられる応用力」を養うことを目標とする。	
評価方法 日常の「話し方表現」の積み重ね 実践講座であるから出席の回数が特に重要。 そして課題スピーチで総合的に評価する。	
教科書 授業の中で指示する	

話し方表現実践演習	春 秋 週1回 1単位
担当者：岡部 晃彦	
講義の目標及び概要 この講義は新3年生を対象に「就職活動に役立つ話し方」を学ぶものです。最近の企業動向、出題の傾向なども解説します。具体的には「説得力のある話し方」や「面接」での受け答えのノウハウ、最近、どの企業でも実施している「集団討論」、「小論文の書き方」など就職試験に即、役立つ講義を実践形式で行います。毎回、やり取りをビデオ収録し、皆で考えながら学ぶ、実践形式ですすめていきます。 また、筆記試験で必ず出される「時事問題」の解説や、漢字、ことわざ、熟語などの「ことばテスト」もあわせて学びます。	
評価方法 15回のうち10回以上の出席が最低必要です。 遅刻は3回で1日欠席と計算します。 評価は、出席点、授業態度、スピーチ効果テストなどを参考に行います。	
教科書 プリントを配布する	

比較宗教学	秋 週2回 4単位
担当者：芦名 裕子	
講義の目標及び概要 1. 内容 宗教学は1870年頃、マックス・ミュラーによって提唱された新しい学問である。しかし、神学など、経典研究を中心とする学問の歴史はすでに確立していた。 そこで、まず、宗教学の基礎を講義し、世界の宗教を比較宗教学の視点から学んでいく。さらに、アジアの宗教にも焦点を置き、比較考察する。また、私たち日本人の宗教観を世界の諸宗教と比較しながら、再考察し、身近な信仰についても考えてみよう。 イスラム教・ヒンズー教・道教など世界の宗教を調査から裏づけられた概説をする。 パチカンの内部に迫るDVDによる授業(1回) 参考書 芦名定道編『比較宗教学への招待』(晃洋書房) 2. カリキュラム上の位置づけ 宗教学の基礎を学ぶ。宗教への興味を喚起する。 3. 学びの意義と目標 宗教学の基礎を学び、諸宗教の経典や内容を修得し、比較考察する。 日本人の宗教を考え、身近な信仰についてもそのルーツ等を探る。	
評価方法 筆記試験100% (基礎知識テスト50% レポートテスト50%) 出席(参考程度) 単位が取得できるように指導する。講義中の私語や携帯電話でマイナスにすることもある。	
教科書 芦名裕子『楽しい宗教学』三恵社	

比較政治学	秋 週2回 4単位
担当者：松尾 秀哉	
講義の目標及び概要 内容) 比較政治学の主要成果、手法を紹介し(講義形式)つつ、後半ではグループワーク(任意の国の政治を実際に比較分析し、レジュメを作成し、発表する)を行う。 カリキュラム上の位置づけ)「政治学」の受講を前提とする。「比較」に要求される高度な専門性(分析力と批判力)を育成する。 学びの意義と目標)「比較」するためには「批判」できる精神と能力、客観的な分析力が必要とされる。自らテキストを読み、要約、報告することによって、この力を獲得する。	
評価方法 報告(レジュメ)を含めた平常点(50%)、レポート(50%)とする。	
教科書 授業の中で指示する	

比較文化概論	春 週2回 4単位
担当者：菊池 有希	
講義の目標及び概要 1. 内容 本授業では、比較文学の概説書を教科書にして、「比較文学・比較文化とはいかなる学問か」ということについて学んでゆく。教科書の各章の解説をした上で、さまざまな具体的事例を紹介しながら、「比較」という方法論の理解の定着を図ってゆく。 2. カリキュラム上の位置づけ 本授業は「概論」であるので、比較文学・比較文化の基礎的な考え方の習得を目指すものである。 3. 学びの意義と目標 文化と文化のあいだに生起する事象について思考するための武器を手に入れることが、本授業の学びの意義であり目標である。	
評価方法 小試験・小レポート50%+学期末試験50%で算出する。なお、授業を進めるに当たって邪魔と判断される行為を行った者に対しては、以降の出席を認めない。	
教科書 プリントを配布する 渡辺洋『比較文学研究入門』世界思想社	

比較文学	秋 週2回 4単位
担当者：氏家 理恵	
講義の目標及び概要 (内容) 本講義では、英語と日本語で書かれた韻文(詩・短歌・俳句など)を分析し比較することによって、それぞれの独自性とお互いの類似性を考察していく。歴史・リズム・形式・題材・イメージ・修辞法などさまざまな比較要素について概観するとともに、なるべく多くの作品を実際に鑑賞していく。 (カリキュラム上の位置づけ) この科目は欧米文化学科の専門科目であると同時に日本文学学科の専門科目でもある。2年次生以上が対象であり、日本と欧米の文学的・文化的基礎知識がある程度あることが受講の前提条件となる。 (学びの目標) 自分の好きな詩や歌の歌詞などが、日本古来の韻文の伝統を継承しつつ西洋詩の影響を受けながら発展してきたことを再確認し、またグローバルな視点から日本の短歌や俳句をとらえ直すことによって、世界文学における日本の位置づけを知る。比較という視点を通して、韻文についてばかりでなく日欧の歴史・文学・文化についての知識を高める。	
評価方法 1. 平常点(ミニッツノート・確認テスト) 40% 2. 課題 20% 3. 中間レポート 20% 4. 期末レポート 20% なお、レポートはオンライン提出とする。	
教科書 プリントを配布する	

比較文化特殊講義②	春 週2回 4単位
担当者：菊池 有希	
講義の目標及び概要 1. 内容 本授業では、主に近現代の日本人作家の西洋体験や西洋文学受容の問題について考察してゆく。授業は、まず該当の教科書の各章の解説を行なった後、具体的な作品に即しながら話を広げてゆくというかたちで進めてゆきたい。 2. カリキュラム上の位置づけ 本科目は、文化論・比較文化系統に属する講義科目である。 3. 学びの意義と目標 近現代の日本人作家は、さまざまなかたちで西洋文学をモデルとしつつ、自らの文学世界を構築してきた。西洋文学受容という比較文学的視点を導入することで、新たに見えてくるものがあることを実感できれば、本授業の目的の半分以上は達成できたということになるであろう。	
評価方法 小レポート50%+学期末試験50%で算出する。なお、授業を進めるに当たって邪魔と判断される行為を行った者に対しては、以降の出席を認めない。	
教科書 松村昌家(編)『比較文学を学ぶ人のために』世界思想社	

ビジネス実務	春 週2回 4単位
担当者：森 久子	
講義の目標及び概要	
(1)内容 新社会人に求められる知識と技能を学び、社会に出たときに直ぐに役立つように適宜、演習を行います。同時にケース・スタディを行い、秘書検定試験問題も受験対策を兼ねて取り上げます。	
(2)カリキュラム上の位置づけ 社会人入門という位置づけです。	
(3)学びの意義と目標 新卒者に対しても、直ぐに社会人として通用する能力が求められるようになりました。実務の理論を学び、演習を行うことにより、組織内で基本的業務を遂行できるようになることを目標とします。	
評価方法	
期末試験:50%、提出物:20%、出席点:30点	
教科書	
小泉佳子監修『新バイリンガルオフィス実務』日本秘書協会	

ビジネス日本語対策講座 A	春 週1回 1単位
担当者：内藤 みち	
講義の目標及び概要	
1、内容 日本語能力試験のN1(旧試験の1級)を有する留学生を主な対象とし、日本語での会議・商談・電話での応対などにおいて語彙・文法力は十分にあるものの、ビジネスの場での日本語話者のと同様のコミュニケーション能力を身につけるために、ビジネスの場面場面に応じた様々な日本語の使用を比較し学習する。必要に応じてロールプレイを行う。	
2、カリキュラム上の位置づけ 改まった場面、主に職場環境における日本語でのコミュニケーション能力を学ぶ、留学生にとっては上級レベルの科目となる。	
3、学びの意義と目標 日本語を使用する社会において、日本語力以外の非言語的情報や常識等を通し、日本語を理解・運用し、日常の特にビジネス活動上の課題に対して適切に行動する能力を身につける。	
評価方法	
中間試験30%、学期末試験30%、クイズ10%、課題10%、平常点20%。※ 欠席が全授業数の3分の1を超える場合は評価対象とならない。	
教科書	
授業の中で指示する	

ビジネス日本語対策講座 B	秋 週1回 1単位
担当者：内藤 みち	
講義の目標及び概要	
1、内容 日本語能力試験のN1(旧試験の1級)を有する留学生を主な対象とし、日本語での会議・商談・電話での応対などにおいて語彙・文法力は十分にあるものの、ビジネスの場での日本語話者のと同様のコミュニケーション能力を身につけるために、ビジネスの場面場面に応じた様々な日本語の使用を比較し学習する。必要に応じてロールプレイを行う。	
2、カリキュラム上の位置づけ 改まった場面、主に職場環境における日本語でのコミュニケーション能力を学ぶ、留学生にとっては上級レベルの科目となる。	
3、学びの意義と目標 日本語を使用する社会において、日本語力以外の非言語的情報や常識等を通し、日本語を理解・運用し、日常の特にビジネス活動上の課題に対して適切に行動する能力を身につける。	
評価方法	
中間試験30%、学期末試験30%、クイズ10%、課題10%、平常点20%。※ 欠席が全授業数の3分の1を超える場合は評価対象とならない。	
教科書	
授業の中で指示する	

秘書学概論	秋 週2回 4単位
担当者：森 久子	
講義の目標及び概要	
(1)内容 秘書の仕事は上司が働きやすい環境を作っていくことで、それを学ぶことは、社会人として必要な知識や、組織の一員として自分がどのように行動すればよいかを学ぶことにもなります。概論ですが、理論と具体的な業務を結びつけるために適宜、ケース・スタディも行います。11月の秘書検定試験前までは、受験対策に役立つ事例を多く取り上げます。	
(2)カリキュラム上の位置づけ 社会人入門という位置づけです。	
(3)学びの意義と目標 新卒者に対しても、社会人として通用する能力が求められるようになりました。秘書の仕事を学びながら、組織内外の人間関係や、直ぐに役立つ知識や技能を身につけ、学校から社会へとスムーズに移行する準備をします。従って、秘書の仕事を理解するだけでなく、社会人として行動できるようになることを目標とします。	
評価方法	
期末試験:50%、提出物:20%、出席点:30点	
教科書	
北垣日出子・高橋真知子監修『秘書概論』樹村房	

ファンタジー論	秋 週2回 4単位
担当者：松本 祐子	
講義の目標及び概要	
<p>(1) 〈内容〉この授業では、まず、神話・伝説・昔話の中にファンタジーの源流を探り、次に、魔法の生き物、ファンタジーの空間、ファンタジーの時間、異形のものたち（ヴァンパイア、人造人間、不老不死）、魔法使いと魔女など、様々な項目ごとにファンタジー作品の分析を試みる。また、おとぎ話、児童文学を下敷きにしたディズニー映画をその原作と比較しつつ、ディズニー映画の人気理由とその功罪について考える。</p> <p>(2) 〈カリキュラム上の位置づけ〉児童学科の学生は1年次から、それ以外の学科の学生は2年次から履修できる授業だが、ファンタジー・物語についての基礎知識のある学生のための授業である。</p> <p>(3) 〈学びの意義と目標〉「夢とおとぎの国への逃避」といったような一般的なファンタジーのイメージに疑問を投げかけ、むしろ、人間の本質を見つめ、現実を生きる力を身につけるためのファンタジーの在り方について考えたい。</p>	
評価方法	
それぞれのテーマごとに3本のレポートを提出してもらおう。授業内の小レポート10%、レポート(1)25%、(2)25%、(3)40%で評価する。ただし、授業を三分の一以上欠席した者、レポート(1)(2)(3)のうち1本でも提出しなかった者には単位は与えない。	
教科書	
プリントを配布する	

フィールドワーク	秋集中 2単位
担当者：村山 順吉/相川 徳孝/松本 祐子/市村 和子/海津 敦子	
講義の目標及び概要	
<p>この授業は子どもの生活の場に自主的に参加し、生活を共にすることを通して体験したことをレポートや討議等の方法を通して整理、理論化し、子どもに対する理解や現場環境の理解を深めていくことを目的としている。したがってこの授業を受講しようとする学生は以下の条件を満たしていなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集中講義出席以前にフィールドにおける実践体験をもつこと。 ・集中講義に出席し、定められたプログラムを経験すること。 <p>〈教材として〉 各自の実践レポート、その他の記録を使用する。</p> <p>〈参考図書として〉 山口昌男編 『文化人類学』（日本放送協会） 津守 真 『保育の体験と省察』（大日本図書）</p>	
評価方法	
実践に関する報告（口頭発表・記録・レポート）と現場責任者の評価を含め、総合的に評価する。	
教科書	
授業の中で指示する	

福祉科教育法Ⅰ	春 週1回 2単位
担当者：中谷 茂一	
講義の目標及び概要	
<p>高等学校における「福祉」教科創設の趣旨と内容を理解し、実際の学習指導ができるよう模擬授業を通して教育法の研鑽を行う。</p> <p>学習指導要領の内容を理解・検討しながら、福祉科授業の構造、教材の作成と提示、課題と評価について講義し、受講者とのディスカッションをとおして深めていく。</p> <p>また、模擬授業案を作成し実際に受講生の前で教えてもらうので人前で話すことが苦手であると受講は難しい。積極的な発言・参加が必須。主体的に参加しない者は単位修得できない。自分の教育方法を謙虚に自己点検する作業を通して福祉科教育の技術と自分なりの哲学を模索する時間としたい。</p>	
評価方法	
<p>(1) 出席 (2) レポート・模擬授業内容 (3) ディスカッション参加状況 上記の総合評価による。</p>	
教科書	
<p>矢幅清司・細江容子 編著『高等学校新学習指導要領の展開 福祉科編』明治図書出版 教育実習を考える会 編『教育実習用学習指導案作成教本（社会 地・歴 公民科）』蒼丘書林 桐原宏行 編著『福祉科教育法』三和書籍</p>	

福祉科教育法Ⅱ	秋 週1回 2単位
担当者：中谷 茂一	
講義の目標及び概要	
<p>福祉科教育法Ⅰで学習したことを展開させ、さらにレベルアップした指導案と模擬授業を行ってもらい、教育実習へとつなげていくことを目標とする。</p> <p>高等学校における「福祉」教科創設の趣旨と内容を理解し、実際の学習指導ができるよう模擬授業を通して教育法の研鑽を行う。</p> <p>学習指導要領の内容を理解・検討しながら、福祉科授業の構造、教材の作成と提示、課題と評価について講義し、受講者とのディスカッションをとおして深めていく。</p> <p>また、模擬授業案を作成し実際に受講生の前で教えてもらうので人前で話すことが苦手であると受講は難しい。積極的な発言・参加が必須。主体的に参加しない者は単位修得できない。自分の教育方法を謙虚に自己点検する作業を通して福祉科教育の技術と自分なりの哲学を模索する時間としたい。</p>	
評価方法	
<p>(1) 出席 (2) レポート・模擬授業内容 (3) ディスカッション参加状況 上記の総合評価による。</p>	
教科書	
授業の中で指示する	

福祉学概論	秋 週1回 2単位
担当者：牛津 信忠	
講義の目標及び概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における福祉制度の意義や理念、さらに歴史を理解する。 ・福祉政策との関係について理解する。 ・福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 ・福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 ・福祉政策の課題について理解する。 (講義の進め方・順番は理解度の状況に応じて変更されることがある)	
評価方法	
出席率、授業の終わりに行う小テスト、および学期末の論文形式の試験によって、総合的に評価する。授業態度をも、評価に加えることを認識しておくこと。	
教科書	
授業の中で指示する	

福祉環境学	秋 週2回 4単位
担当者：山田 義文	
講義の目標及び概要	
1) 内容 皆さんはそれぞれに趣味や生きがいを持ち、様々な製品やサービス、情報、建物や交通機関などを利用しながら毎日を過ごしていることと思います。しかし、それらを利用した時に不便に感じた経験も少なくないかと思います。その悩みは、障がいを持つ人や高齢者の方も全く同じです。福祉環境学の講義では、高齢者や障がいを持つ人に限らず、皆さんも含めた誰にでも便利で快適な環境を実現するための具体的な改善手法に関して考察を重ねてゆきます。	
2) カリキュラム上の位置づけ 全学部・学科を対象とした教養・総合科目になります。講義では、身近な福祉環境にまつわるトピックや海外の先進的な事例なども提示し、それを基に考察を深めてゆきます。	
3) 学びの意義と目標 様々な立場の人々が抱くバリアを実体験として捉え、皆さん自身が考える福祉環境像を提言できるよう、体験型の実習も実施します。今後も、常にすべての人々が安全で快適な環境を構築するための大切な意識を持ち続けられるようになることを目標とします。	
評価方法	
出席点10%、平常点(講義での考察の深さ、プレゼンテーション、身近な環境における自主的な検証)30%、実習課題に対する取り組み30%、定期試験30%にて評価します。困ったことや質問などが生じた場合は、気軽に相談してください。	
教科書	
プリントを配布する	

福祉環境論A	秋 週1回 2単位
担当者：野口 祐子	
講義の目標及び概要	
1. 内容 本講義では、障害者、高齢者などが直面する生活上の様々な困難を環境の視点で捉え、障害者、高齢者を含む全ての人々が豊かに暮らすための環境整備のあり方について学びます。理解を深めるため、講義にあわせ、実習等具体的な課題を盛り込みながら授業を進めていきます。	
2. カリキュラム上の位置づけ 入門的な内容で、人を取り巻く環境の中でも、まち、道具といった物理的な環境を扱います。	
3. 学びの意義と目標 障害者や高齢者、さらにはすべての人が豊かに暮らすための環境整備について、その基礎にある考え方や基本的な解決方法の理解を目標とします。 ※実習1は、ヴェリタス祭の前後期間に学外施設で行なう予定です。詳しい内容と日程については初回の授業で説明します。(受講者の数によっても変更があります。)	
評価方法	
出席1/3、レポート等の提出物1/3、期末試験1/3で評価します。	
教科書	
プリントを配布する	

福祉行財政と福祉計画	秋 週1回 2単位
担当者：大塚 健司	
講義の目標及び概要	
(1) 内容 ・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について理解する。 ・福祉行財政の実態について理解する。 ・福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について理解する。	
(2) カリキュラム上の位置づけ 社会福祉士を目指す者、福祉関係施設を目指す者必須科目である。	
(3) 学びの意義と目的 人口減少、少子・高齢社会の進展の中にあって、福祉の法体系、行政組織、財政構造、福祉計画について理解を深め、福祉の実践に役立たせる。	
評価方法	
中間レポート(読書感想)及び学期末試験(レポート等)80%、出席率20%で評価する。	
教科書	
社会福祉士養成講座編集委員会『新・社会福祉士養成講座10福祉行財政と福祉計画』中央法規出版株式会社	

福祉住環境論	春	週1回	2単位
担当者：山田 義文			
講義の目標及び概要			
1) 内容 住まいは、私たちの日々の営みの基本です。乳幼児や高齢の人、障がいを持つなど誰もが快適で安心できる生活を送る続けるためには、その基本となる住環境が十分に整っていることが前提となります。それには、住環境を利用する様々な立場の人の視点に改めて立ち返り、多角的な視点から検討を重ねることが必要になります。福祉住環境論を学んだ意義を今後も皆さんが抱き続けられるよう、長期的な視点に立った考察を深めてゆきます。			
2) カリキュラム上の位置づけ 人間福祉学部人間福祉学科の専門科目(選択)になります。福祉環境の中でも、高齢の人や障がいを持つ人にも安全で快適な住環境を整備するためのプロセスに焦点を当てます。			
3) 学びの意義と目標 身近な住環境における現状の問題点を的確に把握できる視点を身につけ、それに対する具体的な改善案を示せるようになることを本講義の目標とします。講義では最新のトピックを紹介しながらスライドも活用することで、実際の住環境改善状況や問題点を分かりやすく示し、学生が主体となり、自身の考えを展開してゆけるように配慮します。			
評価方法			
出席点10%、平常点(講義での考察の深さ、プレゼンテーション、身近な環境における自主的な検証)30%、実習課題に対する取り組み30%、定期試験30%にて評価します。困ったことや質問などが生じた場合は、気軽に相談してください。			
教科書			
プリントを配布する			

フランス語(総合)	春	週2回	2単位
担当者：石田 明夫			
講義の目標及び概要			
(1)『フランス語Ⅱ』までに学習した知識をフルに活用し、本物のフランス文化に直接触れてみましょう。ここでは、フランスのヴァリエテ(いわゆるシャンソン)、ロック、R&B、ラップ、レゲエなどフランスのポップ・ミュージックと、フランスのミュージカル(『星の王子様』または『ノートルダムの鐘つき男』を予定)をDVDで鑑賞し、そのテキストを読みます。また、気に入った曲を歌えるようになります。			
(2)フランス語の歌詞を発音し、読み、口語的表現を覚えることにより、基本的なレベル(仏検4~3級)に達することができます。また、フランスの大衆文化(ポップ・カルチャー)についての知識が深まり、フランスひいてはヨーロッパについてポピュラーな視点を獲得でき、ヨーロッパに関連する講義を履修する上で役立つと思います。			
(3)フランス語を学ぶことの重要性は論を待ちませんが、フレンチ・ポップスでフランス語を学ぶことの意義はポップ・ミュージックの歌や歌手(あるいはグループ名)を覚えることにあります。これから出会うかもしれないフランス語圏の人たちと、その知識を活用して、覚えた歌を歌ったり、好きな歌手や歌を話題にしたり、一緒にyoutubeを見たり、生きたコミュニケーションが楽しめるからです。			
評価方法			
出欠状況およびコメント・質問等のリアクション(40%)、予習と発表(20%)、期末テスト(40%)を総合します。また、授業で取り上げた歌を覚えたならプラスαとして、高く評価します。			
教科書			
プリントを配布する			

フランス語(総合)	秋	週2回	2単位
担当者：小室 廉太			
講義の目標及び概要			
《内容》 「フランス語Ⅱ」既習者を対象とした授業です。映画『シェルブールの雨傘』をもとに、会話内容を理解し、重要表現を練習します。また、映画で描かれている社会背景や文化について、クラスで議論をします。			
《カリキュラムの位置づけ》 この授業では「フランス語Ⅰ」、「フランス語Ⅱ」で学んだ文法内容を復習、応用し、辞書や注釈を参考に文章を訳し、日常会話で用いられる表現を学びます。また、映画で描かれる歴史や文化背景などを通じて、フランス全般の知識を深めます。			
《学びの意義と目標》 ・辞書や注釈を用いて、会話表現をきちんとした日本語に訳すことができる ・映画で話されるフランス語を聞き取り、理解できる。 ・フランス語の既習文法を応用し、さらに様々な表現を覚え、用いることができる。 ・映画を通じて、フランス社会や文化について考察できる。 ・アメリカ映画や日本映画と比べた場合の、フランス映画の特質を考察できる。			
評価方法			
中間、期末の定期テスト(50%)、出席状況や授業中の発表などの平常点(30%)、レポート(20%)を総合して評価します。			
教科書			
窪川英水 編『シェルブールの雨傘』白水社			

フランス語(総合)	春	週2回	2単位
担当者：塩谷 祐人			
講義の目標及び概要			
《内容》フランス語ⅠおよびⅡを終了した学生が対象です。今までやってきた基礎文法を元に、実際にフランス人が読んだり聞いたりしているフランス語に触れ、実践的なフランス語を身につけていきます。			
この授業では「BD」といわれるフランスのマンガをテーマにします。フランスでは9番目の芸術とも呼ばれているBDはタンタンのような可愛らしいものから政治的なもの、ことは遊びによるジョークやアーティスティックなものまで様々です。授業ではそれらを読みながら、新しい文法や表現を身につけていきましょう。			
《カリキュラム上の位置づけ》基本的なフランス語から、より実践的で高度なフランス語へと発展させるための授業です。			
《学びの意義と目標》辞書を使いながらフランス語を読む能力を身につけることで、フランス語で書かれたものも自らの知識にできるようになることが、この授業の意義であり目標です。また「BD」を通して、フランス語圏の文化、芸術にも触れてほしいと思います。			
評価方法			
成績に関しては以下の2点で評価する。 (1)授業への出席やテキストの訳、授業中の練習問題の回答など 50% (2)期末試験 50%			
教科書			
プリントを配布する			

フランス語 I (初級 A)	春	秋	週2回	2単位
担当者：石田 明夫/塩谷 祐人/小室 廉太				
講義の目標及び概要				
《内容》 フランス語をはじめて学習する学生を対象とした授業です。初歩的な会話表現の学習から出発して、基本的な語彙を習得し、初歩文法の学習を行います。またビデオ(DVD)やCD等を用いて、フランスの様々な文化に接し、多面的にフランスを学ぶ機会にしたいと思っています。				
《カリキュラム上の位置づけ》 この科目ではフランス語を学習する上でのごく基本的な事項の習得を目指し、次のステップ『フランス語 II』の準備をします。また、英語以外の言語に触れることにより、見方が広がり、ヨーロッパに関連する講義を履修する上でもおおいに役立つと思います。				
《学びの意義と目標》 国際語としてのフランス語の地位は昔も今も変わりません。フランス語はヨーロッパにおいてのみならず世界的に大きな影響力をいまだもっています。フランス語を学ぶことにより、世界の様々な人々との交流、あるいは様々な文化との接触が可能になります。この科目を履修することはその第一歩です。				
評価方法				
出欠状況、小テストの結果および授業態度等の平常点(50%)と定期試験(50%)を総合して判断します。				
教科書				
田辺保子他『やさしいサリュ---サリュ! 簡略版』駿河台出版社				

フランス語 I (初級 A) ※A優先	春	週2回	2単位
担当者：石田 明夫/塩谷 祐人/小室 廉太			
講義の目標及び概要			
《内容》これからフランス語をはじめめる学生のための授業です。基礎文法を学びつつ、簡単な会話のフレーズを覚えたり、聞き取りや記述式の練習問題を解いたりしながら、総合的にフランス語の基礎を身につけましょう。ことばを使う時には大きく分けると「今のこと」「過去のこと」「未来のこと」を語るようになりますが、フランス語 I では「今のこと」を話したり、尋ねたりするときの、さまざまな表現やルールを学習します。			
《カリキュラム上の位置づけ》フランス語の基礎を勉強するだけではなく、その先につながる授業でもあります。この授業の延長であるフランス語 II につながることはもちろん、会話やフランス語研究といった科目と合わせることで、より幅広くフランス語が使えるようになるための土台作りの授業になっています。			
《学びの意義と目標》物事の理解や情報収集がことばを通してなされるのであれば、言語を選ぶことは自分と世界の関わり方を選択することでもあるでしょう。フランス語を通して世界にアプローチすることで、より多様で国際的な見方を身につけましょう。			
評価方法			
授業評価は以下の二点を主な基準とする。 (1) 授業への出席や授業中の発言、小テスト 50% (2) 定期試験 50%			
教科書			
KANeko Mitsuko, INOGUCHI Yoshihiko, MATSUURA Hiroshi, SHIR-AISHI Yoshiharu, SAKUMA Raphaella『MON PETIT POISSON (モン・プチポワゾン)』白水社			

フランス語 II (初級 B)	春	週2回	2単位
担当者：小室 廉太			
講義の目標及び概要			
《内容》『フランス語 I』を受講した学生を対象とした授業です。これまでに習得した知識を活用し、さらに新たな表現や文法事項を学習します。『フランス語 I』に引き続き、ビデオ(DVD)やCD等を用いて、フランスの様々な文化に接し、多面的にフランスを学ぶ機会にしたいと思っています。			
《カリキュラム上の位置づけ》 この科目ではフランス語を学習する上での基礎的な事項の習得を目指し(仏語検定5級レベル)、次のステップ『フランス語(総合)』の準備をします。また、フランス語・フランス文化についての知識が深まるにつれ、広い見方ができるようになり、ヨーロッパに関連する講義を履修する上でさらに役立つと思います。			
《学びの意義と目標》 国際語としてのフランス語の地位は昔も今も変わりません。フランス語はヨーロッパにおいてのみならず世界的に大きな影響力をいまだもっています。フランス語を学ぶことにより、世界の様々な人々との交流、あるいは様々な文化との接触が可能になります。この科目を履修することはその第一歩です。			
評価方法			
出欠状況、小テストの結果および授業態度等の平常点(50%)と定期試験(50%)を総合して判断します。			
教科書			
田辺保子ほか『やさしいサリュ ---サリュ! 簡略版---』駿河台出版社			

フランス語 II (初級 B) ※A優先	秋	週2回	2単位
担当者：石田 明夫/塩谷 祐人/小室 廉太			
講義の目標及び概要			
《内容》フランス語 I を終えた学生のための授業です。簡単な会話のフレーズを覚えたり、聞き取りや記述式の練習問題を解いたりする学習の方法は同じですが、より幅広い表現ができるように基礎文法をマスターしましょう。フランス語 I では「今のこと」が中心でしたが、フランス語 II では「過去のこと」や「未来のこと」も言えるようになります。			
《カリキュラム上の位置づけ》この授業でフランス語の基礎文法がひととおり終了することになります。それは同時に、フランス語 III、フランス語総合、フランス語研究、会話などで、より実践的でより豊かなフランス語を身につける準備が整うことも意味しています。フランス語検定の受験なども視野に入ってくるようになるでしょう。			
《学びの意義と目標》フランス語を通して情報を得たり物事を考えたりすることは、日本語や英語を通して世界を見ることに加えて、ヨーロッパ的で多面的な視点を獲得することにつながります。フランス語を学習することで、国際的なコミュニケーション能力と多様性を楽しめる感性を得てほしいと思います。			
評価方法			
授業評価は以下の二点を主な基準とする。 (1) 授業への出席や授業中の発言、小テスト 50% (2) 定期試験 50%			
教科書			
KANeko Mitsuko, INOGUCHI Yoshihiko, MATSUURA Hiroshi, SHIR-AISHI Yoshiharu, SAKUMA Raphaella『MON PETIT POISSON (モン・プチポワゾン)』白水社			

フランス語Ⅲ(中級A)	春	週2回	2単位
担当者：石田 明夫			
講義の目標及び概要			
<p>(1)『フランス語Ⅱ』までに学習した知識をフルに活用し、本物のフランス文化に直接触れてみましょう。ここでは、フランスのヴァリエテ(いわゆるシャンソン)、ロック、R&B、ラップ、レゲエなどフランスのポップ・ミュージックと、フランスのミュージカル(『星の王子様』または『ノートルダムの鐘つき男』を予定)をDVDで鑑賞し、そのテキストを読みます。また、気に入った曲を歌えるようになりましょう。</p> <p>(2)フランス語の歌詞を発音し、読み、口語的表現を覚えることにより、基本的なレベル(仏検4～3級)に達することができます。また、フランスの大衆文化(ポップ・カルチャー)についての知識が深まり、フランスひいてはヨーロッパについてポピュラーな視点を獲得でき、ヨーロッパに関連する講義を履修する上で役立つと思います。</p> <p>(3)フランス語を学ぶことの重要性は論を待ちませんが、フレンチ・ポップスでフランス語を学ぶことの意義はポップ・ミュージックの歌や歌手(あるいはグループ名)を覚えることにあります。これから出会うかもしれないフランス語圏の人たちと、その知識を活用して、覚えた歌を歌ったり、好きな歌手や歌を話題にしたり、一緒にyoutubeを見たり、生きたコミュニケーションが楽しめるからです。</p>			
評価方法			
出欠状況およびコメント・質問等のリアクション(40%)、予習と発表(20%)、期末テスト(40%)を総合します。また、授業で取り上げた歌を覚えたならプラスαとして、高く評価します。			
教科書			
プリントを配布する			

フランス語Ⅲ(中級A)	秋	週2回	2単位
担当者：小室 康太			
講義の目標及び概要			
<p>《内容》 「フランス語Ⅱ」既習者を対象とした授業です。映画『シェルブールの雨傘』をもとに、会話内容を理解し、重要表現を練習します。また、映画で描かれている社会背景や文化について、クラスで議論をします。 《カリキュラムの位置づけ》 この授業では「フランス語Ⅰ」、「フランス語Ⅱ」で学んだ文法内容を復習、応用し、辞書や注釈を参考に文章を訳し、日常会話で用いられる表現を学びます。また、映画で描かれる歴史や文化背景などを通じて、フランス全般の知識を深めます。 《学びの意義と目標》 ・辞書や注釈を用いて、会話表現をきちんとした日本語に訳すことができる ・映画で話されるフランス語を聞き取り、理解できる。 ・フランス語の既習文法を応用し、さらに様々な表現を覚え、用いることができる。 ・映画を通じて、フランス社会や文化について考察できる。 ・アメリカ映画や日本映画と比べた場合の、フランス映画の特質を考察できる。</p>			
評価方法			
中間、期末の定期テスト(50%)、出席状況や授業中の発表などの平常点(30%)、レポート(20%)を総合して評価します。			
教科書			
窪川英水 編『シェルブールの雨傘』白水社			

フランス語Ⅲ(中級A)	春	週2回	2単位
担当者：塩谷 祐人			
講義の目標及び概要			
<p>《内容》フランス語ⅠおよびⅡを終了した学生が対象です。今までやってきた基礎文法を元に、実際にフランス人が読んだり聞いたりしているフランス語に触れ、実践的なフランス語を身につけていきます。</p> <p>この授業では「BD」といわれるフランスのマンガをテーマにします。フランスでは9番目の芸術とも呼ばれているBDはタンタンのような可愛らしいものから政治的なもの、ことば遊びによるジョークやアーティスティックなものまで様々です。授業ではそれらを読みながら、新しい文法や表現を身につけていきましょう。</p> <p>《カリキュラム上の位置づけ》基本的なフランス語から、より実践的で高度なフランス語へと発展させるための授業です。</p> <p>《学びの意義と目標》辞書を使いながらフランス語を読む能力を身につけることで、フランス語で書かれたものも自らの知識にできるようすることが、この授業の意義であり目標です。また「BD」を通して、フランス語圏の文化、芸術にも触れてほしいと思います。</p>			
評価方法			
成績に関しては以下の2点で評価する。 (1)授業への出席やテキストの訳、授業中の練習問題の回答など50% (2)期末試験 50%			
教科書			
プリントを配布する			

フランス語研究A	春	週1回	1単位
担当者：鹿瀬 颯枝			
講義の目標及び概要			
<p>「フランス語Ⅰ」と「フランス語Ⅱ」をすでに受講し、さらにその成績において、SあるいはAの評価を受けた学生を対象とした授業です。</p> <p>これまでに習得した基礎的な知識を活用し、より深くフランス語を文法事項中心に学びながら、複言語・複文化についても考えてみるように進めていきます。そうしたことが、世界の「多様性」を理解し、異文化に対して「寛容」の精神で接することに繋がると思っているからです。</p> <p>「フランス語研究A」では、学期中に、広くフランス語の実力を各々で試してみるために、フランス語検定の4級レベルから挑戦を勧める予定にしています、ステップ・アップを期待しつつ。</p>			
評価方法			
出席・小テストの平均点と定期試験(あるいは検定試験)を総合して判断します。			
教科書			
大木充・西山教行『グラメールアクティヴー ー文法で複言語・複文化ー』朝日出版社			

フランス語講読A	秋	週1回	2単位
担当者：鹿瀬 颯枝			
講義の目標及び概要 《講義目標》 先行きが不安な今日、政治的ペシミズムと心理的ペシミズムが入り混じるなか、若者たちの孤独や絶望感は、19世紀初頭に若者たちが罹っていた《世紀病Mal du siècle》を思い起こさせる。1834年、23歳のAlfred de MussetがLorenzaccioを通して描いた永遠の青年像をともに読み解いてゆきたい。《生きにくさdifficulté d' être》の源をともに考えてゆきたい。 さらに、時間の許す限り、2008年度ノーベル文学賞受賞作家J. M. G. Le Clezioの長編大作からLe Chercheur d' Orを抜粋で、あるいは短編集から一編平易なテキストを取り上げたいが、開講時に受講生と相談して決める。			
評価方法 出席率50%、テキスト訳文&レポート提出などにより総合的に評価する。			
教科書 プリントを配布する			

フランス語コミュニケーションA(総合)	春	週2回	2単位
担当者：F. ルテュール			
講義の目標及び概要 本年のクラスは、TAXI1 (Hachette社)を教科書として使用します。フランス語会話の基礎を様々な状況に応じて、例えば、自己紹介から日常生活会話まで、実際にフランスにいるかのように、フランスの友人たちと、あるいは家族と話しているかのように、学んでいきましょう。 この教科書は、大きく9つの項目に分けられ、さらに36課で構成されています。 各課の内容は、 ー テキスト、会話 ー 文法、語彙の紹介&説明 ー 書く、聴く、話すことを中心とした練習問題 と進んでいき、各項目ごとに終了すると、復習ができるようになっていきます。 CDやDVDも使用しますので、オーラルの理解力、会話練習にも役立つことでしょう。			
評価方法 学期末に2回テストをします。 学期中の出席と授業参加度も重視したいと思います。			
教科書 授業の中で指示する 『TAXI 1』 Hachette			

は
行

フランス語コミュニケーションB(総合)	秋	週2回	2単位
担当者：F. ルテュール			
講義の目標及び概要 本年のクラスは、TAXI1 (Hachette社)を教科書として使用します。フランス語会話の基礎を様々な状況に応じて、例えば、自己紹介から日常生活会話まで、実際にフランスにいるかのように、フランスの友人たちと、あるいは家族と話しているかのように、学んでいきましょう。 この教科書は、大きく9つの項目に分けられ、さらに36課で構成されています。 各課の内容は、 ー テキスト、会話 ー 文法、語彙の紹介&説明 ー 書く、聴く、話すことを中心とした練習問題 と進んでいき、各項目ごとに終了すると、復習ができるようになっていきます。 CDやDVDも使用しますので、オーラルの理解力、会話練習にも役立つことでしょう。			
評価方法 学期末に2回テストをします。 学期中の出席と授業参加度も重視したいと思います。			
教科書 授業の中で指示する 『TAXI 1』 Hachette			

フランス文化	秋	週2回	4単位
担当者：鹿瀬 颯枝			
講義の目標及び概要 1. 内容 本講義は、文化大国としてのフランスをヨーロッパの中で、あるいは世界の中でどのように位置づけるかを検討しつつ、美術、建築、思想、文学、演劇、音楽、言語などを通して今日のフランス人の生活・衣食住まで広く紹介します。 2. カリキュラム上の位置づけ 欧米文化学科2年生以上が対象の専門科目です。 3. 学びの意義と目標 フランス文化の「新しさの追求と伝統の再検討」という特質を新しさを追求し続けるファッションと伝統を守り続ける料理やワインのように対照的に捉えていきます。			
評価方法 出席点(毎回の授業ミニ・レポート提出)30%、中間レポート30%、期末レポート40%			
教科書 プリントを配布する 朝比奈美知子・横山安由美『フランス文化55のキーワード』ミネルヴァ書店			

フランス文学	春 週2回 4単位
担当者：鹿瀬 颯枝	
講義の目標及び概要 ◆内容◆フランス文学は、「人間が人間のために人間を探求する」という点に特徴があるといわれているように、この講義では、フランス文学作品に登場する様々な人間像を、さらに、作者の時代背景をふまえつつ、その人間の全体像を探求してゆきたいと思う。人間は、パスカルのいうように、「無限の偉大さと無限の卑小さの中間にある存在」であるならば、長所も短所も、美德も悪徳も、善行も悪行も、人間の内と外にあるものすべてを真正面から凝視し、それを作品のなかから読みとろうとすることが、フランス文学を学ぶ第一歩ではなからうか。こうして、フランス文学に接することで、我々の人間社会を垣間見ることができれば、すでに、大きな収穫といえよう。 本講義は、17世紀、枢機卿リシュリューの進言によって1635年に創立された「アカデミー・フランセーズ」（フランス最高の文化機関として現在に至る）から始める。各論Iでは、17世紀—古典主義とは何か？ 各論IIでは、18世紀—啓蒙主義とは何か？ 各論IIIでは、19世紀—ロマン主義とは何か？ 各論IVでは、20世紀—現代とは何か？ を中心テーマに、時代背景を紹介した後、作品研究に入る。	
評価方法 出席状況、小レポート、期末レポートの総合評価。	
教科書 鈴木力衛&渡辺一夫『増補フランス文学案内』岩波文庫別冊	

触れるアート	秋 週1回 2単位
担当者：喜田 敬	
講義の目標及び概要 (1) (内容) 人の感覚器官の中で触覚は視覚や聴覚に比べ日ごろ取り上げられることが少ない。しかし、こどもが生まれてすぐに利用する感覚器官は、口の周りの触覚である。そしてその後も、気温や湿度など多くの情報を触れることを通して取り入れている。近年この触れることを媒介とした芸術や身体で感じることをアートと捉える動きがある。本講義では、紹介解説する芸術作品についての知識を得るだけでなく、様々な素材に実際に触れることを通して、より深く理解することができるようにしていく。また、感觸を味わい楽しむ芸術や絵本などに触れる機会を提供していきたい。 (2) (カリキュラム上の位置づけ) こども心理学科の専門科目であり、1年次から履修することのできる選択科目である。 (3) (学びの意義と目標) 人は触覚を通して様々な情報を得ており、心理学の重要な研究分野の一つである。またアートが人の感情や情緒に及ぼす影響も大きい。この人の心と密接な関係にある触覚な芸術作品に触れ、理解することは、心理学を学ぶ上で重要な意義を持つ。	
評価方法 活動姿勢25%、出席25%、レポート25%、試験25%の割合で評価する	
教科書 プリントを配布する	

文化学	秋 週2回 4単位
担当者：坂巻 理恵子	
講義の目標及び概要 1、内容 昨年の東日本大震災で、秩序を保ち忍耐を持ってみんなのために尽くす日本人の姿は海外で絶賛されました。私たちは長いこと忘れていた日本人らしさを再認識したように思います。本講義では、当たり前のようになりかたにある日本のよき文化について、言葉・文字という観点から考えます。後半は「和本」といわれる昔の書物についてふれてみるつもりです。 2、カリキュラム上の位置づけ これからの学びの糸口をつかむ入門的な授業とします。 3、学びの意義と目標 日本の文化・伝統に興味を持って、理解を深めていくこと。そして自身がこれらを世界に、また後の世代の子供達に伝える担い手であるという自覚をもってほしいと思っています。	
評価方法 出席・平常点40%、中間試験30%、まとめのレポート30%で評価します。	
教科書 プリントを配布する	

文学	春 週2回 4単位
担当者：上宇都ゆりほ	
講義の目標及び概要 1) 内容 文学作品とは、人間の普遍的な精神活動を基盤として、政治のあり方や人々の暮らしなどの、社会的背景が深く関わって成り立つものである。とすれば、日本の古典文学に触れることを通して、日本の社会のあり方によって今とは異なるもの、反対に、何百年経っても変わらないものがわかるだろう。日本を知るために、文学作品を系統的に辿ってみよう。原文そのものに触れて、当時の人々の思想や暮らしに思いを馳せてみよう。現在の日本や日本人を考える時、日本の古典文学を知ることは、様々な価値観を相対化するための一つの物差しとなるはずである。 (2)カリキュラム上の位置づけ 文学研究を専門としない学生のための教養としての科目として位置づける。しかし文学を広く見渡し、時代と思想のあり方を考えるために複合的な視野を導入した講義を進める。 (3)学びの意義と目標 様々な時代の古典文学作品を通して、日本人の思想や、当時の社会的背景を考える。	
評価方法 学期末に試験を課し(60%)、出席状況(30%)、授業中の態度(10%)などを合わせて総合的に評価する。	
教科書 プリントを配布する 小林保治『あらずじで読む日本の古典』新人物往来社	

文学	秋 週2回 4単位
担当者：中島 佐和子	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容……明治から現代に至る短編小説を主にした近現代日本文学を講読する。作品を鑑賞し、時代背景を探り、小説技法を学ぶ。人は、自分ひとりで存在しているのではなく、必ず周囲の人々との関係性の中にある。文学を読むということは、様々な関係性を体験するというに他ならない。また文学は時代を映す鏡である。明治から現代に至る道筋を文学でたどる事によって、現在の私たちがどのような位置にいるのかを確認したい。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ……政治経済学部と人間福祉学部の学生を対象とした教養科目。文学を通しての人間理解は、どのような専門科目を学ぶ者にも非常に有益である。</p> <p>3. 学びの意義と目標……第一に、文学の楽しさを知ること。次に、様々な文学作品を読むことは、人間関係が希薄化し、いじめや引きこもりが問題になっている今の時代にあって、他者を思いやり、他者との関わりについて考える絶好の機会となるだろう。自分の今いる場が、唯一絶対のものではないということにも気づくはずである。さらに、明治以降の日本社会について考察し、漢字、語彙、慣用句などの知識を得ることによる日本語能力の増進と、創作技法を分析することによるメディアリテラシー（情報を読み取り発信する能力）の強化を図りたい。（取り上げる作家・作品は変更する可能性があります。）</p>	
評価方法	
授業態度・授業時の小テスト・提出物（70%）。期末テスト（30%）。授業を休まないこと。原則として欠席が三分の一を越えた場合は評価しない。授業ではよく聞き、考え、発表する（寝ていては出席になりません）。提出物は必ず提出すること。	
教科書	
プリントを配布する	

文化交流史(アジアと日本) A	春 週2回 4単位
担当者：濱田 寛	
講義の目標及び概要	
<p>[内容]</p> <p>遣隋使・遣唐使に関連する資料を読み、「文化交流史」を人的・物的交流の側面から考察する。</p> <p>[カリキュラム上の位置づけ]</p> <p>基本的な文献操作の手法を学び、専門演習・卒業研究における各自の研究課題への確かな方法論を身につける。</p> <p>[学びの意義と目標]</p> <p>日本および中国の文献に対する理解を深めるとともに、基礎的な読解力の涵養を目指し、あわせて「問題発見」に至る「考え方」を修得する。</p>	
評価方法	
出席点:20% 平常点:40% レポート:40%	
教科書	
プリントを配布する	

文化交流史(欧米と日本)	秋 週2回 4単位
担当者：黒木 章	
講義の目標及び概要	
<p>[内容] 最初の文部大臣森有礼の思想と行動を通じて日本の近代化の問題を考える。</p> <p>同じテーマで数年間学んできたが、この講義は本年度で締め括りにしたい。</p> <p>[カリキュラム上の位置付け] グローバルな視点で日本文化を考えるという学科設立の理念に沿って、森有礼の場合を具体的に検証しながら人間と社会・歴史と文化の問題を考える。この科目は他学科の学生にも開放されているので、比較文化や比較思想などに興味を持つ人には学びの成果は大きいはずである。</p> <p>[学びの意義と目標] 夏目漱石が講演「現代日本の開化」で言ったように、日本の近代化は黒船来航に象徴される欧米列強との出会いによって始まったといえる。森有礼の幕末秘密留学に係る僅か数年の体験は彼の思想形成とその後の生き方に重要な意味を持ち、そのことが憲法発布の当日の朝暗殺される事態に深く関わるようである。</p> <p>ここでは特に明治初期の国民教育の問題を巡ってあらわになる日本人の持つ可能性と挫折を考えることになる。このことは現代の我々の課題を逆照射することを意図している。</p>	
評価方法	
授業出席と普段の授業参加態度を40%、学期末に試験の代わりに課すレポートを60%とみる。授業中の対話・質疑応答を重視する。	
教科書	
プリントを配布する	

文化社会学	秋 週2回 4単位
担当者：田中 佳	
講義の目標及び概要	
<p>本講義は、現代社会に見られるさまざまな文化的事象を多角的視点から問い直すことを試みるものである。本年度は「美術館」をテーマとする。今日の美術館をめぐる諸現象・諸問題を抽出することから始め、過去（歴史）や他国の事例と比較・対照させることでそれらを相対化していく。</p> <p>この一連の作業は、現代における他の社会・文化現象についても、既存のシステムを批判的に再検討するきっかけを提供するであろう。</p> <p>本講義では、受講生と共にさまざまな作業や課題に取り組んでいくことを想定しているため、受講生には主体的な参加が求められる。このような取り組みを通して、知識ばかりでなく、ものの考え方・学び方を身につけてほしい。なお、図像資料を多用するため、美術作品をはじめとする視覚表象に関心のある向きも歓迎する。</p>	
評価方法	
出席・授業への参加度40% ミニ・レポート30% グループ発表30%	
教科書	
授業の中で指示する	

文化人類学	春 週2回 4単位
担当者：高橋 絵里香	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容:文化人類学は、地球上の様々な「異文化」についての知識を集めたものではなく、人間社会に関わる様々な現象について観察・理解するための視点である。日本から遠く離れた場所で行われる「奇妙」としか思えない習慣でも、そこには何か人類に共通するような思考の様式やテーマが存在している。そして、グローバル化した現代社会では、地理的な距離は関係なく、私達は同じ問題の別の側面を経験している。本講義では、基本トピックス(経済、宗教等)、現代的問題(ナショナリズム、ジェンダー等)、身近な現象(医療、介護等)を通じて、上記のような物事の見方を獲得していく。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ:日本社会を相対化して理解するための基礎となる。</p> <p>3. 学びの意義と目標:文化人類学は、他の人間について想像力を働かせる訓練でもある。我々とは完全に異なった考え方をする人々、あまりにも住んでいる場所が遠すぎて一生出会う可能性のない人々であっても、日本に暮らす我々と何らかの形で関係付けられるのであり、何らかの理解や共感が可能であると気付いていくための契機としてほしい。</p>	
評価方法	
出席点30%、授業中の課題30%、学期末のレポート40%の割合で評価。	
教科書	
プリントを配布する	

文化とグローバリゼーション	秋 週2回 4単位
担当者：菊池 有希	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容 本授業では、グローバリゼーションを「近代以降に本格化した、西洋主導の地球規模の政治・経済・社会・文化の動き」と捉えつつ、そのようなグローバリゼーションの動きと日本文化との関わりはいかなるものであるのか、という問題について、西洋人の日本に対する眼差しのありようを手掛かりに、考察を試みてゆく。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ 本科目は、文化論・比較文化系統に属する講義科目である。</p> <p>3. 学びの意義と目標 「グローバリゼーション」「グローバリズム」は肯定的な文脈で語られることが多いように見受けられる。だが、当然そこには光と影が存在する。そのことをしっかり理解してもらうことが、本授業の意義であり目標であるだろう。</p>	
評価方法	
小レポート50%+学期末試験50%で算出する。なお、授業を進めるに当たって邪魔と判断される行為を行った者に対しては、以降の出席を認めない。	
教科書	
プリントを配布する	
山内久明他(編)『表象としての日本——西洋人の見た日本文化』放送大学教育振興会	

文芸(創作)	秋 週2回 2単位
担当者：藤田 のぼる	
講義の目標及び概要	
<p>●この授業は「文芸(創作)」という科目で、文学作品創作の実習を行います。授業者の専門が児童文学なので、参考にするのは児童文学が多くなりますが、それぞれの創作作品は児童文学に限らず、自由な素材、テーマで書いてもらいます。「創作」が果たして学べるものかどうかという疑問があるかと思いますが、創作のタネはそれぞれの心の中に意外に潜んでいるもので、それにどのような手順でどのように形を与えてやるかを学ぶということになるでしょう。</p> <p>●具体的には、「読む」と「書く」ことの両方を通して、学んでいきます。最終的にそれぞれ自分のオリジナル作品をしあげることを目標とします。授業の進め方については、受講者の数や希望、提出された作品の傾向などによってかなり変更するケースもありますが、一応の予定として掲げておきます。なお、授業の性格上、受講人数には限定がありますので、事前の掲示など注意してください。また、第1回目の授業は、最大限休まないようにしてください。</p>	
評価方法	
基本的には最終的な提出作品によるが、授業の中での提出物なども加味して評価する。	
教科書	
プリントを配布する	

平和学	秋 週2回 4単位
担当者：小松崎 利明	
講義の目標及び概要	
<p>(内容)これまで蓄積されてきた平和研究の学問的成果を基礎に、われわれが生きる社会に生起する問題を通して、「平和」について考える。ただし、この平和ということばは概念自体が多義的・論争的であり、またその平和を実現するための手段や方法も、人や文化、また時代によってもさまざまに異なり、さらには、平和に関する研究があらゆる学問分野を含むがゆえに、包括的に学習することは困難である。したがってこの授業では、「平和とは何か」「平和はどうすれば実現できるのか」といった問いへの「唯一の答え」を「提示する」のではなく、基本知識の習得と映像資料の視聴をもとにしたディスカッションを通じて、学生ひとりひとりが自ら平和について考えることを目的とする。</p> <p>(カリキュラム上の位置づけ)必修の専門基礎科目「政治学」習得済みの学生が、現代世界における平和の諸問題についてより専門的に学ぶための専門科目のひとつである。</p> <p>(学びの意義と目標)まずは、社会科学の領域において蓄積されてきた平和研究の学問的成果を学ぶ。それをもとに、自分自身、そして他者との対話を通じて、現代世界における「平和」について多様な視点から考察する技術を習得する。</p>	
評価方法	
1. 平常点(授業での発言とコメントシートの提出) 30% 2. 中間レポート(ミュージアム訪問) 30% 3. 期末レポート 40%	
教科書	
プリントを配布する	

ヘルス・プロモーション	秋	週1回	2単位
担当者：齊藤 理砂子			
講義の目標及び概要			
1. 内容 ヘルスプロモーションは現代社会において、自他ともに健康を保持増進していく上で重要な役割を担う。健康の保持増進を図る上での政策、組織的取り組みや地域での活動、個々の適切な生活行動を選択できるための健康教育など、ヘルスプロモーションの基本的な理念と方法を学ぶ。			
2. カリキュラム上の位置づけ 健康の概念、現代社会における健康課題を理解した上で、健康を保持増進していくための政策、組織的な取り組みや地域での活動、健康教育について学ぶ。子どもの健康課題、及びそれを解決していくための理論と方法を学ぶ基礎となる。			
3. 学びの意義と目標 ヘルスプロモーションの基本的な概念や理論について説明できる。また、わが国の健康課題を理解し、地域や学校におけるヘルスプロモーションの具体的な活動について知り、実践につなげることができる。			
評価方法			
出席状況（50%、出席の有無だけでなく授業態度も含む）、授業後の振り返りシート及び課題レポート（50%）で評価する。			
教科書			
授業の中で指示する			

ベンチャービジネス論	春	週1回	2単位
担当者：関水 信和			
講義の目標及び概要			
1. 内容 当科目はベンチャー企業の現状と問題点やあり方などを学ぶものです。受講することにより、ベンチャー企業を理解して将来、取引をしたり、さらに起業したりする時に役に立つはずです。またベンチャー企業経営の勉強を通して、企業と経営の本質について、理解を深められるような授業を行うので、ベンチャー企業と関わりを持たない人にも有意義なはずです。			
2. 他の科目との関係専門科目ではありますが、企業経営における財務ないし法務などとの関係を解説するので、会計や法律などを勉強する意義などが理解できて、それらの科目を勉強するモチベーションが増すはずです。よって財務や法律をまだ勉強していない人にも受講をお勧めします。			
3. 目標 企業経営の意義・あり方とリスクをベンチャー企業の経営を通して理解することです。			
評価方法			
出席 20% 平常点（課題など） 30% 期末試験（配布資料・ノート持ち込み可） 50%			
教科書			
プリントを配布する			

保育原理	春	秋	週1回	2単位
担当者：寺崎 恵子				
講義の目標及び概要				
1 内容 保育といういとなみを、子どもと大人とのまなざしのかかわりあいであることに注目して理解する。両者のかかわりあいのありようから保育の基礎をとらえたい。また、保育用語の理解に努めたい。				
2 カリキュラム上の位置づけ 保育士資格科目のうち、保育の本質と目的を把握することを目的としている科目である。保育についての基本的知識を習得して、基本的な視点を学ぶための入門として位置づけている。				
3 学びの意義と目標 保育の世界は、ひろく、そして深い。その世界に身をもってかかわっていくには、しなやかな思考力とゆたかな感受性が求められる。学びを通じて、しっかりとした基礎づくりをしたい。				
評価方法				
小レポート(5点×14回=70点)と期末レポート(30点)とを合わせて評価する。小レポートの記述状況によっては、書き直しを求められることがある。なお、小レポートと期末課題の書式については、初回時に説明する。				
教科書				
森上史郎ほか『保育用語辞典』ミネルヴァ書房				

保育実習	通年	週1回	5単位
担当者：田澤 薫/坂本 佳代子/佐治 由美子			
講義の目標及び概要			
1内容 保育士資格取得に必要な必修の実習を行う。実習のための事前学習、保育所での実習、居住型施設での実習、事後学習を含む。			
2カリキュラム上の位置づけ 保育士資格取得のための必修科目である。また保育士資格取得に必要な選択必修科目である「保育実習A」または「保育実習B」を履修する前提となる科目である。			
3学びの意義と目標 これまでに行ってきた保育、福祉、養護等に関する講義・演習での学習を基礎とし、保育所・居住型施設の現状や児童の日常、保育士のはたらき等を体験的に学ぶ。保育士を目指すうえで自己の課題を見つけ、さらに保育専門職の役割を総合的に理解する。			
評価方法			
授業に出席し、保育所での実習・居住型施設での実習を行い、それぞれの実習日誌を提出のうえ個別面談による事後指導を受けた受講生が評価の対象となる。出席状況および受講態度、課題・書類等の提出の平常点と実習評価を総合して評価する。			
教科書			
児童学科実習委員会『保育実習の手引き』厚生労働省『保育所保育指針』			

保育実習 A	春集中 2単位
担当者：佐藤 千瀬	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容</p> <p>本科目は、「保育実習」の経験を踏まえ、さらなる目的意識と自己課題をもって、保育所において実習を行うものである。授業で学んだ保育理論と保育技術をどのくらい自分のものとしているのか、また、保育所実習において実習園から指導を受けたことが、自分の問題として認識され解決できているのかが問われることになる。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ</p> <p>「保育実習」及び保育士資格に関連する科目を、適切な評価で修得した者が履修できる。保育士資格取得のためには、「保育実習A」または「保育実習B」のいずれかを修得することが条件となっている。</p> <p>3. 学びの意義と目標</p> <p>(1) 保育所の保育を実際に行い、保育士として必要な資質・能力・技術を習得する。</p> <p>(2) 家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養う。</p>	
評価方法	
実習園からの実習評価と平常点を総合して評価する。実習参加にあたっては、平常点や履修状況等、一定の条件を満たした者のみの参加が認められる。	
教科書	
プリントを配布する	

保育実習 B	春 2単位
担当者：坂本 佳代子	
講義の目標及び概要	
<p>本科目は、保育所以外の児童福祉施設やその他の社会福祉施設での養護を実践するものです。これにより、保育士としての資質・能力・技術を習得することを目的とします。更に実習を通して、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力、判断力を養うとともに、子育てを支援するために必要とされる能力を養うものです。</p> <p>上記の目的を実践する機会としての実習であり、保育資格取得希望者には保育Aまたは保育Bの選択必修科目となっています。施設現場組織の中で役割責任を負っている職員の働き方と業務内容を把握し、職員の責務の一端を担う体験をしてみます。</p>	
評価方法	
授業出席状況、受講態度、課題・書類等の提出の平常点と実習評価を総合して評価する。尚、施設実習を実施し、実習日誌を提出して事後指導を受けた受講生が評価の対象となる。	
教科書	
授業の中で指示する	

保育実践演習	通年 週1回 2単位
担当者：石津 靖大	
講義の目標及び概要	
<p>この演習は、保育士の資質向上を目指すところの保育士養成課程の専門演習科目にて、学科固有の専門演習および卒業研究とは異なる点に留意。</p> <p>人類に共通する現代的課題である「環境」「国際」「人権」「情報」および日本社会における緊急問題である「少子高齢化」、という5つのテーマに関する領域より、各自ないしグループとして取り組むテーマを設定する。次いで、資料収集・調査・分析・検討した結果をレポートし、問題提起およびその解決策などについて討論する。これらの課題について、保育士志願者が理解を深め視野を広げ、適切な指導が出来ることをめざす。</p> <p>ディスカッションを中心に演習形式の授業を行い、授業は教室内だけではなく、可能な限り実地の見学・参加などフィールドワークもとり入れる。また、他の教員（学外者を含む）等の参加を求め、指導および助言を得る機会を設ける。</p>	
評価方法	
出席（30%）、平常点（50%）、発表・レポート（20%）	
教科書	
授業の中で指示する	

保育実践演習	通年 週1回 2単位
担当者：小池 茂子	
講義の目標及び概要	
<p>本演習では現代的課題である「少子高齢化」に焦点を当て授業を行う。</p> <p>春学期は各自ないしグループ毎に、提示されたトピックス（少子高齢化の実体とそれを生み出した背景、少子社会の問題、現代女性の結婚と出産に関する意識、なぜ国や自治体を挙げての子育て支援が必要なのか、父親の子育て参加は可能か等）の中から取り組むテーマを設定し、資料収集・調査・分析を行いレポートにまとめる。更にそれをパワーポイントやビデオを用いて発表し、発表について受講者が相互に協議・検討を加えることで、現代的課題について専門職としての理解を深め視野を広げ、適切な指導が出来るようになることを目指す。</p> <p>秋学期は、フィールドワークの手法について学び、それらの方法論を用いてグループ毎に調査した結果についてレポートを作成・発表し受講生相互に意見交換を行う。</p> <p>授業は教室内だけではなく、可能な限り実地の見学・参加などフィールドワークもとり入れる。また、グループごと或いはクラス全体でのディスカッションを重視し、意見交換を通じて一つの事象に対して多角的に事象を捉える能力の獲得を目指す。</p>	
評価方法	
平常点、発表、レポートにより評価を行う。グループワークも多くなるので、いかに積極的に参加したかを重視する。実習による欠席は公欠とみなさない。対面の補講を持って欠席分を補う。	
教科書	
河野哲也『レポート・論文の書き方入門』慶応大学出版会	

保育相談支援	秋 週1回 1単位
担当者：上野 直子	
講義の目標及び概要	
<p>1. 〈内容〉保育相談支援とは、子どもの保育の専門性を有する保育士が、保育に関する専門的知識や技術を背景として、保護者が支援を求めている子育ての問題や課題に対して、保護者の思いを受けとめながら、安定した親子関係や養育力の向上を目指して行う子どもの養育（保育）に関する相談、助言、行動見本の提示、その他の援助業務を指します。</p> <p>そこで、保育相談支援の基本と実践力をつけるため、以下の4つの目標達成に向けて、学生相互でのグループ活動等を通して学んでいきます。</p> <p>(1) 保育相談支援の意義と原則について理解する。 (2) 保護者支援の基本を理解する。 (3) 保育相談支援の実際を学び、内容や方法を理解する。 (4) 保育所等児童福祉施設における保護者支援の実際について理解する。</p> <p>2. 〈カリキュラム上の位置づけ〉保育士資格取得のための必修科目（演習）です。</p> <p>3. 〈学びの意義と目標〉保護者の支援には、保護者の思いに気付く経験が重要です。ロールプレイやグループディスカッションを通じて、保護者の気持ちになってみることで、よりよい支援の手掛かりを考えていきましょう。</p>	
評価方法	
授業（授業内でのディスカッション）への参加・毎回の提出課題（50%）、学期末試験あるいは期末レポート（50%）の結果を基に総合的に評価したいと思います。	
教科書	
柏女霊峰／橋本真紀 編著『保育相談支援』ミネルヴァ書房	

保育相談支援実践論	秋 週1回 1単位
担当者：相川 徳孝	
講義の目標及び概要	
<p>1. 目標 子育て支援センター「わかば」での実習を行い、保護者支援の現場に学び、その具体的方法を修得することを通して、保護者の養育力向上に資する支援や保育的なかかわりを通じた保育相談の方法を実践的に学ぶことを目的とする。</p> <p>なお、履修にあたっては基礎実習を履修していることが条件となる。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ 保育士資格取得のための選択科目である。</p> <p>3. 学びの意義と目標 保育において今日的課題である保護者支援について、その方法と意味を学び、子育て支援の意味を各自が理解すること。</p>	
評価方法	
子育て支援センターわかばでの実習(70%)とレポート提出(30%)	
教科書	
プリントを配布する	

保育内容総論	秋 週1回 2単位
担当者：野尻 裕子	
講義の目標及び概要	
<p>(1) 内容 「保育内容」という枠組みの意義及び役割や、保育の全体構造を総合的に学ぶ。そのために「保育内容」という概念の変遷を知り、また実際の保育との関係の中で具体的に理解していく。更に現在の保育を取り巻く状況を把握し、課題と今後の方向性を考えていく。</p> <p>(2) カリキュラム上の位置づけ 本授業は幼稚園教諭免許状及び保育士資格を取得する際の、「教育課程及び指導法に関する科目」「保育の内容・方法に関する科目」として設定されているものであり、十分な理解が求められている内容である。</p> <p>(3) 学びの意義と目標 発達を捉える「保育内容（領域）」という視点は、保育だけに用いられる特別な概念であり、その理解を深めることが重要である。保育内容を子どもの発達などと関連づけながら学ぶ中で、保育の全体構造の理解をし、合わせて幼児理解を深めていく。</p>	
評価方法	
期末テスト、課題レポート、レスポンスペーパー等により総合的に評価する。（期末テスト60%、課題レポート30%、レスポンスペーパー10%）	
教科書	
授業の中で指示する	

保育内容の研究・環境	春 秋 週1回 2単位
担当者：永井 理恵子	
講義の目標及び概要	
<p>保育所保育士、幼稚園教諭を目指す学生の資格取得のための必須科目である。</p> <p>講義で学習する内容は、領域・保育内容「環境」に関する内容である。</p> <p>「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」のいずれにおいても、幼児教育は「環境」としておこなうことが最初に提示されているが、領域「環境」に関する内容は、より狭義の「環境」を意味する。しかし、この「環境」の解釈それ自体も非常に難しい。</p> <p>そこで本講義では、まず領域「環境」の意義と内容を正しく理解することを最初の一步とする。その後、幾つかのテーマに沿って領域「環境」の概念を大まかに認識し、その後に、それぞれの具体的な考察や分析をおこない、理解力と実践力の双方の育成を目指す。</p>	
評価方法	
15回の講義中、いわゆる「講義」と、各自で製作や活動をおこなう「演習」を交互に織り交ぜておこなう。評価方法としては、「演習」講義での活動の様子や、提出物、講義内での発表の様子などを総合して評価する。	
教科書	
三宅茂夫共編著『保育内容「環境」論』ミネルヴァ書房	

保育内容の研究・健康	春 秋 週1回 2単位
担当者：鈴木 明	
講義の目標及び概要 (1) 内容 本講義では、幼稚園教育要領や保育所保育指針に示されている内容を中心に、健康な 幼児を育てるということで、特に幼児教育での健康の領域の指導のため、基礎となる理論と、それを踏まえた実践のあり方について学ぶ。 (2) カリキュラム上の位置づけ 心身の健康に関する領域として、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り 出す力を養うこととする。 (3) 学びの意義と目標 幼児期における健康な健康習慣の確立は、その後に続く児童期、青年期へと発育発達 していくための基礎がつくられる重要な時期である。その点を意識しながら保育士として、発達過程に即した子どもの理解、総合的な指導・援助が行える実践的な力の習得し、健康な幼児を育てるための指導とは何かについてとらえていきたい。	
評価方法 毎回授業終了時に実施するショートテストと定期試験により評価する。なお規定回数の出席がない場合は評価対象外とする。	
教科書 授業の中で指示する	

保育内容の研究・言葉	春 秋 週1回 2単位
担当者：石川 由美子	
講義の目標及び概要 [目的] はじめに、乳幼児期からの言葉の発達過程を紐解くことで、人間にとっての言葉とその機能に関する理解を深める。保育者としての基盤となる幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「言葉」についての知識を深める。次に、言葉の発達と関わる保育教材についての知識と技術についての学びを深める（わらべ歌、手遊び歌、絵描き歌、ペープサート、パネルシアター、言葉遊び：回文、しりとり、オノマトペなど、折り紙、製作、絵本など）。最後に、保育者として子どもの言語発達に寄与する保育実践を、言葉の障害をもつ子供への保育指導案作成を通して学ぶ。 [カリキュラム上の位置づけ] 本科目は幼稚園免許取得、保育士資格取得のための必須科目となっている。 [学びの意義と目標] 乳幼児期の言葉の発達を学ぶことが中心だが、この時期の言葉の獲得は人間にとって大変に意味深いものである。人間にとっての言葉を理解することで、人が思考すること、人と人が思いやり、感じあい、共感し合うことができる発達の重要性を学んでほしい。	
評価方法 発表、小テスト、課題などで70%、出席状況や授業への参加の程度など平常点として30%	
教科書 授業の中で指示する	

保育内容の研究・人間関係	春 秋 週1回 2単位
担当者：横井 紘子	
講義の目標及び概要 1. 内容 幼稚園教育要領・保育所保育指針に示されている保育内容の領域のうち、人とかかわりに関する領域「人間関係」について学ぶ。この領域では、他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養うことがめざされる。本講義では、乳幼児期の人間関係の発達や特性について理解すると同時に、人とかかわる力の育ちを支える保育者の役割について実践的に考えていく。 2. カリキュラム上の位置づけ 幼稚園教諭免許・保育士資格取得のための必修科目である。 3. 学びの意義と目標 人とかかわりが希薄化していると言われる昨今、人間関係について多角的に考えることの意義は大きい。人とかかわる力の重要性・必要性を認識し、自己省察を通し、自分がめざす保育者のありようを考えることを目標とする。	
評価方法 平常点 20% 課題（小レポート）30% 期末レポート50%により評価を行う。 欠席回数が3回を超える場合は評価に反映する。	
教科書 プリントを配布する	

保育内容の研究・表現A	春 秋 週1回 2単位
担当者：相川 徳孝	
講義の目標及び概要 1. 目的 「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」において、表現は「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする」と示されている。このことを踏まえ、共に生活する子どもと保育者が「表現者として育つ」ことに視点をあて、理論と実践の両面から授業を展開していく。具体的には子どもの表現方法（ことば・音楽・身体・造形等）について学び、「表現とは何か」「子どもなりの表現を受容することとは」「表現する力を育てるとはどういうことなのか」を考えていく。また、保育者自身も表現者であることを目指し、ピアノや手遊び等の保育技術も重視していく。 2. カリキュラム上の位置づけ この科目は幼稚園免許取得、保育士資格取得のためには必修となる科目である。 3. 学びの意義と目標 一人ひとりの子どもの多様な表現の意味を捉え、その意味を考え、考察できるようになること。また、保育者自身も豊かな表現者となることを目標とする。	
評価方法 試験（70%）と各自の保育実技の表現（30%）で評価する。	
教科書 プリントを配布する	

保育内容の研究・表現B	春 秋 週1回 2単位
担当者：柴田 和豊	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容 「保育所保育指針」や「幼稚園教育要領」に記されている「いろいろな物の美しさなどに対する豊かな感性を持つ」「感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ」「生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ」などの諸点を実現するために、子どもたちの造形的発達の特性と造形活動についての多面的な学習を通して、幼児の造形表現についての理論的視点と実践的能力の育成を図る。また、子どもたちの表現活動の基本は「楽しく」ということであることを踏まえて、受講者一人ひとりが造形表現の楽しさと大切さが実感できるように、理論的部分と表現活動の実際を有機的に関連づけながら進める。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ 幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための必修科目。</p> <p>3. 学びの意義と目標 子どもたちの育ちにとって、子どもたちの心的欲求を知り、受けとめていくことの大切さを理解し、そのために必要とされる造形に関する基礎的な諸能力を育成する。</p>	
評価方法	
出席状況、発表、製作物、レポートなどを総合して判断する。	
教科書	
プリントを配布する	

法学	春 週2回 4単位
担当者：伊藤 泰	
講義の目標及び概要	
<p>法学学の基礎的な知識を習得することを目的として、おもに憲法、刑法、および刑法に関する講義を行う。</p>	
評価方法	
筆記試験の成績を基礎としつつ(70%程度)、出席状況や授業中の態度も考慮する。なお補助的な評価手段としてレポートを採用するかについては受講者と話し合って決めたいと思う。	
教科書	
伊藤正己・加藤一郎『現代法学入門(第4版)』有斐閣	

法学	春 週2回 4単位
担当者：加藤 恵司	
講義の目標及び概要	
<p>法学は、いわゆる法文の解釈や判例研究、学説などの詳細について覚えこむことだと考えるものがある。初学者が法学を学ぶにあたって重要なことは、法律的な物の見方、考え方、すなわち、legal mindを身につけることにある。そこで、本講義は、法的思考の核心となる法の基礎理論を付与することを目的とする。</p> <p>法的思考は、健全な常識を基礎として、合理的、科学的な観点から法の原理、法の本質を理解することである。現代社会に目を向ける時、市民の常識的な正義や公平感覚と合致しないために矛盾を感じたり、ひとたび法律が制定されてしまうと強制的に服従させられるようになり、割り切れない気持ちになることがある。その結果、法律はその専門家の所与のものと考えたり、法にある種の不信感を抱くことすらある。このような諦観は、学問をする立場からは禁物である。正義、自由、平等、人権、愛などを基礎にした説得力ある提言、論評、意見こそ法的思考の視座となるのである。</p> <p>さて、裁判員制度が設けられるようになって、この法的思考を養うために判例を中心とした日常的な事例を解きながら講義をすすめていく予定である。</p>	
評価方法	
試験によって評価する。中間試験を随時におこなう。また、出席とレポートその他の課題をを課した場合には、それも考慮する。	
教科書	
『コンパクト六法』岩波書店 『ポケット六法』有斐閣 『デイリー六法』三省堂	

法学	春 週2回 4単位
担当者：尋木 真也	
講義の目標及び概要	
<p>(1) 授業内容 法律というと、弁護士や裁判官が扱うものと思われるかもしれませんが、実際には、私たちはさまざまな法律のうえで日常生活を送っています。また、新聞を開いてみると、政治面でも経済面でも国際面でも社会面でも、法律の話がよく出てきます。この講義では、このような日常に關係する法律を素材にしつつ、法的な考え方や重要な法律について勉強していきます。</p> <p>(2) カリキュラム上の位置づけ どのような学問を行ううえでも(より大きく言えば人生を送るうえで)、法的な考え方をもっていると物事の理解が深まりますし、また主張に説得力が増します。そのため、法学の基礎の勉強は、他のさまざまな授業を受ける前提として位置づけることができます。</p> <p>(3) 学びの意義と目標 この講義は、法的な考え方の修得を目標として行います。細かい法律内容を暗記するのではなく、ニュースを見たときなどに、法的な視点から問題を考えられるようになってもらいたいと思っています。</p>	
評価方法	
期末試験70%、出席30%での評価を予定しています。受講生の人数や要望に応じて、中間テストやレポートを実施し、評価基準に変更を加える可能性があります。その際は、みなさんに事前に相談します。	
教科書	
プリントを配布する	

法学	春 週2回 4単位
担当者：宮澤 弘	
講義の目標及び概要	
<p>1. 内容；この授業では法的なものの見方や考え方について学んでいきます。これは問題の解決策を検討しているとき「その理由付けや説明がどれも整合していること」、および得ようとしている結論について「私たちが信じている道徳や倫理に照らして受け入れられると判断できること」の二つの側面を念頭に置きながら問題に向き合う態度だとも言えます。授業では具体的な事例はもちろんのこと、理論的な事柄についても学でいきます。</p> <p>2. カリキュラム上の位置づけ；政経学科の専門科目群の一つである法学系の基礎をなす専門科目であり、今後の専門科目の学習において必要な知識を習得する役割を担うものです。従って基礎的であり、かつ入門的な位置づけになります。</p> <p>3. 学びの意義と目標；一見複雑に見える出来事でも法的な思考法に基づいて整理することにより、当該出来事において重要と思われるものを明瞭に捉えることができます。授業の目標として、物事についてある視点を軸に整理して考える態度、そして自己の見解を何らかの根拠に基づいて説明する能力、この二つを身につけることを目指しています。</p>	
評価方法	
<p>期末試験から60%、授業中に時々行う確認テストやしばしば提出を求める(場合によっては次週までにまとめてくる)課題から40%の割合で評価します。</p>	
教科書	
プリントを配布する	

法学	春 週2回 4単位
担当者：安原 陽平	
講義の目標及び概要	
<p>【内容】 憲法・行政法・刑法・民法の学習を通して、各々の法律がどのような問題に対してどのような働きをするのかを学習していきます。 できるだけ具体的な事例を扱い、学説や裁判所がどのような理由づけで問題を解決しようとしているのかということも確認していきます。</p> <p>【カリキュラム上の位置づけ】 法学系の科目を選択するうえで前提となると同時に、社会科学系の教養科目としての性格も有し、基礎的かつ入門的な位置づけとなる科目です。</p> <p>【学びの意義と目標】 本授業を通して、基本的な法的思考が身につくことを目標としています。 また身近に起きる問題を法的な思考により自分で考えることができるようになることも本授業の目標となります。</p>	
評価方法	
<p>出席・平常点 (30%) と試験 (70%) *出席・平常点については、講義ごとにリアクションペーパーで確認します。</p>	
教科書	
プリントを配布する	

法学	春 週2回 4単位
担当者：渡辺 英人	
講義の目標及び概要	
<p>「法を守る精神・法令遵守と責任」 「法学」では、みなさんが市民社会に参加するために必要な「ルールと手続き」について学びます。法は人と人が社会の中でいかに上手く生活していくか、という目的のために存在します。いまから法の意味と目的をよく理解し、責任ある個人、良き市民として、社会に参加してください。将来、どのような職業に就いても、この授業で学んだ内容が、必ず役に立ちます。講義内容の中心は「法の概念」「市民社会の法」「消費者と法」「知的財産権」などです。</p>	
評価方法	
<p>出席とレポート、二回の試験によって評価します。</p>	
教科書	
『ポケット六法 平成24年版』有斐閣	

法学	秋 週2回 4単位
担当者：奥貫 妃文	
講義の目標及び概要	
<p>「法」と一言で言っても、その内容は膨大であり、初めて法の世界に足を踏み入れる人は、まずその広く深い森の中でさまよい戸惑うのが常だろう。そこで、本講義では、あくまでも講義を受講する学生一人ひとり(=個人)を主軸に据えて、個人が関わり合う社会的諸関係の身近な事例や事件を出発点にして、法律とは何か、受講生の皆と共に考えてみたい。</p> <p>さらには、より広汎な社会や地球との関係まで視野を広げ、法と社会との関係性を解き明かしていく。受講生との活発な議論のなかから新たな視点が提示されるような有機的な講義をめざす。具体的には、個人が生きていく上で不可欠な、消費生活、医療、労働、社会保障等と法との関係から、国家、司法といった、より大局的な法システムまで広げつつ、講義を展開する予定である。</p>	
評価方法	
<p>毎回の授業への出席・受講態度等を50%、レポート・筆記試験を50%の割合で総合評価する。</p>	
教科書	
プリントを配布する	

法学 (W)	秋 週2回 4単位
担当者：松村 芳明	
講義の目標及び概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活における法の作用や役割について理解する。 ・憲法、民法及び行政法の基礎を理解する。 ・基本的人権、権利擁護、成年後見制度等、社会福祉士に必要な内容について理解する。 <p>※「権利擁護と成年後見制度」を履修するためには、本科目の単位を修得していることが望ましい。</p>	
評価方法	
試験によって評価する。	
教科書	
笠井正俊ほか編『岩波セレクト六法』岩波書店	

法学特論(ジェンダー法)	秋 週2回 4単位
担当者：武藤 健一	
講義の目標及び概要	
<p>最近増加し、全体の3分の1以上を占める、パートや派遣などの非正規雇用が不安定な状況におかれています。これは、昨今いわれている「格差社会」をもたらす原因でもあります。この不安定な状況におかれている非正規労働者で報道されたりしているのは、ほとんど男性です。しかしながら、非正規労働の今までの流れを見ると、その代表的存在である派遣もパートも、元々多かったのは女性の方です。言い換えれば、日本の社会の中で前から格差社会が存在し、その中で生きてきたのは女性であるとも言えるのです(更に付け加えれば、最近の非正規化の流れで若い世代の人が正社員として就職できないということも由々しき事態です)。</p> <p>そこで、この労働の場面をジェンダー(：文化的・社会的性差)という側面から検討することで、昨今いわれている非正規労働や格差社会論が落としてきた側面を理解し、法制度がどうなっているかを学んでいくのが、この授業の内容です。労働におけるジェンダー問題を法学というフィルターを通して考えることをこの講義の目的とします。</p> <p>ただし、法学科目であるにもかかわらず、ジェンダー法学の前提となる社会学の成果を大いに取り入れて授業を進めることになります(特に統計資料を大いに利用します)。</p>	
評価方法	
出席点・平常点を重視します(ただし、出席しているだけでは評価の対象にまったくなりません)。そこでレスポンスシート(：授業末レポート・テスト)の評価を出席点・平常点とし、配分は、(出席点+平常点)：学期末試験=67%：33%、とします。	
教科書	
プリントを配布する	

法思想史	秋 週2回 4単位
担当者：加藤 恵司	
講義の目標及び概要	
<p>法思想史は、法とは何か、法の拘束力は必要なのか、正義とは、人権とは、という法理論を内包しながら、政治、経済、社会などに目を向けた幅広い学問である。</p> <p>わが国の近代化は、近代西欧の影響を決定的に受けており、法制度についても同様である。にもかかわらず、西欧の精神的所産に十分な理解をしているとは言いがたい。そこで、本講義は西欧の法思想に限定する。古代では、オリエントにおける法思想を中心に語り、ギリシャ・ローマの法思想へと展開する。中世では、ローマ法を継承したゲルマン法、教会法に焦点を当てる。現代の法思想の原理的なルーツを探求しながら、将来にどのような法制度が必要であるかを考えてみたい。</p>	
評価方法	
レポートによって評価する。出席および授業態度などを考慮して総合的に評価する。	
教科書	
加藤恵司『法・思想・歴史』ジーオー企画出版	

法政情報論	春 週2回 4単位
担当者：渡辺 英人	
講義の目標及び概要	
<p>「法政情報論」高等学校普通教科「情報」教員免許取得を目的とする学生の必修科目である。現代社会におけるさまざまな「活動」にとり「情報」はもっとも重要な要素であると考えられている。この授業では「法学」「政治学」分野におけるさまざまな「情報」問題について解説し、理解してもらう。授業は毎回マルチメディア教室で行う。受講者全員が一斉に授業を開始し、一斉に終了する。けっして遅刻、欠席しないこと。</p>	
評価方法	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業への参加と理解度 (50%) 2. 発表およびレポート提出 (50%) 	
教科書	
授業の中で指示する	

放送文化	春 週2回 4単位
担当者：川野 一字	
講義の目標及び概要	
1内容 放送はどのような役割をにない、時代をどのように伝えてきたのか。通信（IT）との融合はどう進み、これからどう発展してゆくのか。随時映像を視聴しながら、そのつど小論文にまとめてゆく。	
2カリキュラム上の位置付け 全科に共通する社会情報、コミュニケーション論の基礎の一つである。	
3学びの意義と目標 批判的な目で情報を受けとめ、自ら情報を発信することをも視野に入れて学ぶ。そのためにも小論文作成を重視する。文章力向上のための講座でもある。	
評価方法	
講義毎の「小論文」 出席時限数と出席日数 (1時限目と2時限目がセットになっているので2時限とも出席したかどうか判断する) 課題論文	
教科書	
プリントを配布する	

法哲学	秋 週2回 4単位
担当者：伊藤 泰	
講義の目標及び概要	
〈内容〉 私たちの周りにはさまざまな法があります。けれども、なぜ私たちはそれらの法に従わなければならないのでしょうか。あるいはまた、そもそも法って何なののでしょうか。法哲学とは、法に関わるそれらの根本的な疑問を扱うものです。 〈カリキュラム上の位置づけ〉 法思想史や政治哲学など関連科目を受講しておくこと、授業がより興味深いものとなるかもしれません。 〈学びの意義と目標〉 本講義の最大の意義は法的事実ながらに、批判的な視点を養うことにあると言えるでしょう。特定の見解を教えるのではなく、今後の人生においてものびることを原理的に考えるためのヒントを与えること、それがこの講義の目的です。	
評価方法	
期末試験の成績を重視(8割程度)しますが、授業中の態度なども考慮します。なお、補助的な評価手段としてレポートを採用するかもしれませんが、この点については受講者のみなさんと話し合って決めたいと思います。	
教科書	
平野仁彦・亀本洋・服部高宏『法哲学』有斐閣	

簿記（初級）	春 週2回 4単位
担当者：澤村 孝夫	
講義の目標及び概要	
企業は手元にある資金を利用して商品売買業などの事業を展開し利益を獲得するための活動を行っています。こうした活動を正しく理解するためには、一定の方法で計算・記録・整理するための〈道具〉が必要になります。それが〈簿記〉です。また、簿記は、一定期間の取引活動の状況を取引先、出資者、銀行等の利害関係者に報告する役割も担っています。 本講義では、簿記による記帳方法の原理及び記帳プロセスを体系的に学習し、基礎的な経理知識の習得を目指しています。また、日本商工会議所主催の簿記検定試験3級を受験することができます。	
評価方法	
テスト 60% レポート 10% 出席 30% を勘案して評価します	
教科書	
渡辺正直『最新式段階式 日商簿記検定問題集3級』実教出版	

簿記（初級）	春 秋 週2回 4単位
担当者：山田 ひとみ	
講義の目標及び概要	
1、内容 会計に関する知識はビジネスパーソンにとって必須といわれています。企業が公表する会計情報は複式簿記にもとづいて作成されており、複式簿記の原理は世界共通です。講義では毎回テーマについて例題を用いて説明した後、練習問題を解答してもらいます。簿記の学習で重要なのは予習よりも復習です。 復習と自習のチェックを兼ねて、適宜、ミニテストを行います。 2、カリキュラム上の位置づけ 「税務・会計入門」を履修後、または同時に履修することが望ましい。「簿記（中級）」を履修するための知識を身につけることができる。また、会計学・経営学関連科目を学ぶ上でも必要な基礎知識が身に付きます。 3、学びの意義と目標 勘定の仕組みを理解して取引を仕訳し、決算の手続きを経て貸借対照表と損益計算書の作成に至るまでの、簿記一巡の手続きを理解することができる（日商簿記3級程度）。	
評価方法	
ミニテスト 20%、定期試験 30%、出席 50%	
教科書	
TAC 簿記検定講座『合格テキスト 日商3級 Ver. 5.0』TAC出版	

簿記（中級）	春 秋 週2回 4単位
担当者：山田 ひとみ	
講義の目標及び概要	
<p>1、内容 中級程度の商業簿記と、初歩的な原価計算を含む工業簿記について学習する。商業簿記では、株式会社を前提とした取引の記帳方法を学び、工業簿記では製造業における生産活動の記録方法を学ぶ。講義では毎回テーマについて例題を用いて説明した後、練習問題を解答してもらいます。予習、復習、自習のチェックを兼ねて、適宜、ミニテストを行います。</p> <p>2、カリキュラム上の位置づけ 「簿記」または「簿記（初級）」の単位取得後、もしくは日商簿記3級合格後に履修することが望ましい。また、会計学・経営学関連科目を学ぶ上で十分な基礎知識が身に付きます。</p> <p>3、学びの意義と目標 株式会社が作成する財務諸表を読む力がつき、経営状態を把握できるようになる（日商簿記2級程度）。</p>	
評価方法	
ミニテスト 30%、定期試験 40%、出席 30%	
教科書	
TAC簿記検定講座『合格テキスト 日商2級商業簿記 Ver. 6.0』TAC出版 TAC簿記検定講座『合格テキスト 日商2級工業簿記 Ver. 6.0』TAC出版	

保健医療サービス	秋 週1回 2単位
担当者：中村 肇男	
講義の目標及び概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助活動において必要となる医療保険制度（診療報酬に関する内容を含む）や保健医療サービスについて理解する。 ・保健医療サービスにおける専門職の役割と実際、多職種協働について理解する。 	
評価方法	
出席(20%)、受講態度(20%)、授業中の小テスト(30%)、期末テスト(30%)	
教科書	
授業の中で指示する 全国社会福祉協議会『医学一般 改訂版—人体の構造と機能及び疾病、保健医療サービス（社会福祉学習双書 14巻）』全国社会福祉協議会	

ボランティア論	秋 週1回 2単位
担当者：佐野 正子/助川 征雄/渡辺 正人	
講義の目標及び概要	
<p>ボランティアを論じることは「走る」「生活する」「愛する」ことを論じるくらいに多様であり曖昧であり、そして自由でもある。実際にボランティア活動をする事（「これはボランティア活動に違いない」と自分が思っているものでも可）の中で出会った「ヒト」「キモチ」「ジッター（見えないものも含む）」など様々なことがボランティアを考える上で大きなエッセンスにもなりうる。そのような前提のうえで、「ボランティア」について柔軟に多角的に考え、また時には逆説的に、少し懐疑的にも考えてゆく。</p>	
評価方法	
各時間のコメントシートまたは小レポート50% まとめ試験50%	
教科書	
プリントを配布する	

ボランティア論B	秋 週1回 2単位
担当者：川田 虎男	
講義の目標及び概要	
<p>（内容） ボランティア論Bでは、本来ボランティア論を受講済みの方、ないしはボランティア実践者に限定した少人数によるグループワークを中心とした内容を予定していましたが、本年度についてはボランティア論Bのみの開設となったため、講義とゲストスピーカーの話を中心とした内容となります。ボランティアについての基礎的な知識また、実際の活動内容について学びます。</p> <p>（カリキュラム上での位置づけ） 基礎的なボランティアの知識を身につけるものですので、ボランティアの経験の有無は問いません。</p> <p>（学びの意義） 東日本大震災においても多くのボランティア活動が注目されていますが、自分たちの日常レベルに落として現代社会におけるボランティアの実情と意義を学びます。</p>	
評価方法	
出席と授業時の振り返りレポート（60%） 課題レポート（40%）	
教科書	
授業の中で指示する	